

## 琵琶湖淀川水系問題対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 平成22年8月26日(木)～8月27日(金)

### 2 調査の概要

今年7月に国土交通省の有識者会議で、ダムを建設する場合とそれ以外の治水対策とで安全性やコストを必ず比較し、ダム建設が必要かどうかを判断する基準案がまとめられた。

本県の大戸川ダム、丹生ダムと同じく、今後検証が行われることとなったダム等について、その現状について調査を行った。

#### (1) 栃木県議会(栃木県宇都宮市)

##### ・湯西川ダム

治水および利水を目的として利根川水系湯西川(鬼怒川の支川)に計画されている国直轄の多目的ダムで、平成23年度に完成予定である。

##### ・南摩ダム

国土交通省によりダム事業を継続するか検証する対象となっている。

県道の付け替え工事等生活関連事業は継続して実施されているが、ダム本体工事は凍結されている。



#### (2) ハツ場ダム建設予定地(群馬県吾妻郡長野原町)

ハツ場ダムは、治水および利水を目的として利根川水系吾妻川に計画されている国直轄の多目的ダムであるが、平成21年8月の総選挙後の国土交通大臣の就任会見において事業中止が明言され、ダム事業見直しの象徴的存在となった。ダム本体工事は凍結されている。

